

株主のみなさまへ

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

第101期の中間報告書をお届けするにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

インターネットが新しい社会基盤として定着し、社会・企業・個人のビジネスや生活のスタイルが大きく変化する新しい時代を迎えつつある中で、当社およびグループ各社は、「Everything on the Internet」という事業戦略のもと、「カスタマ・フォーカス」の視点に立って、コンピュータ、通信、電子デバイスの各分野における世界トップレベルの最先端技術を駆使した製品、ソフトウェアを提供するとともに、情報システムの開発から運用・保守サービスに至るまで、お客様にとって最適なソリューションの提供に努めております。

この結果、当中間期の連結売上高は2兆4,905億円、経常利益650億円、当期純利益172億円となりました。また、単独売上高は1兆5,132億円、経常利益283億円、当期純利益741億円となりました。

株主のみなさまへの中間配当金につきましては、引き続き1株につき5円とし、支払開始日を11月22日とさせていただきます。

当社は昨年6月にグループ全体の事業戦略を「Everything on the Internet」として明確化し、以下の3つのNo.1、すなわち、「No.1 インターネットソリューション」、「No.1 インターネットサービスプロバイダ」、「No.1 インターネットユーザ」を目標として掲げておりますが、本年度は、さらにこの基本戦略を具体化し、「富士通こそが、インターネット時代をリードする企業グループ」となることをめざして、以下の2点に注力しております。

1点目は「ブロードバンド・インターネット」への対応です。いつ、どんな所からでも、ネットワークを介して映像・音楽などを手軽に送受信できる次世代インターネットを実現するために、最先端のテクノロジーで市場をリードし、次世代インターネットを支える製品の提供を積極的に推進しております。

2点目は「お客様との新しい関係」の構築です。個人によるインターネット利用の拡大・多様化が進み、企業にとってインターネットの活用が不可欠となる中、インターネットを核とした先進的なシステムやサービスの提供をさらに強化することにより、お客

様のビジネスの付加価値を向上させ、お客様と共にビジネスを創出していく、ITに関する総合的なパートナーという関係の構築を推進しております。

また、本年6月から「The Possibilities Are Infinite」をコーポレート・メッセージとして、日本、米国、欧州、アジアにおいてグローバル・ブランド・キャンペーンを展開しております。グループ全体で“FUJITSU”ブランドを共有してビジネスを推進することにより、インターネットをリードする企業としての信頼性をさらに高め、世界中に展開する富士通グループの価値の向上を図ってまいります。

今後とも富士通グループ各社を取り巻く経営環境はさらに激しく変化することが予想されます。こうした中で当社は、米国子会社であるアムダール社のUNIXサーバビジネスへの転換をはじめ、引き続きインターネットを機軸とした「選択と集中」による事業構造改革を推進し、成長性と収益性の向上に努めてまいります。併せて経営効率化を推進し、財務体質の強化に注力してまいります。

また、地球環境問題を経営上の重要課題と

してとらえ、引き続き事業活動のあらゆる面において環境負荷の低減を積極的に推進してまいります。

こうした努力を続けることにより、21世紀においても常に変化を予見し、世界中のお客様や社会から信頼される企業たるべく、自己革新を推進してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、なにとぞ倍旧のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成12年11月



取締役会長 関澤 義(左側)
代表取締役社長 秋草 直之(右側)